



指定規則の「地域看護学：地域看護学概論」に関して、看護師関係科目において実施している内容

千葉大看護学部

科目名	人間学Ⅰ（ライフサイクルと発達）	人間学Ⅱ（家族と文化）	看護倫理	専門職連携Ⅲ	母性看護学概論
目的・目標	<p>【目的】人間の発達に関する理論への理解を基盤として、乳幼児期から学童期、思春期、青年期を経て成人期、老年期に至る人間のライフサイクルを形態機能的・心理社会的側面から統合して学習し、看護の対象を理解する</p> <p>【目標】①発達とその関連概念及び発達の一般原理を学習し、人間と発達の関連性、人間のライフサイクルと発達を学ぶ意義について理解する、②人間の発達に対する見解の歴史的展開と主要な発達理論の学習を通して、人間発達観の変遷と発展について理解するm③乳幼児期から学童期、思春期、青年期を経て成人期、老年期に至るライフサイクル各段階における形態機能的・心理社会的側面の発達について学習し、各期に生じやすい健康問題と必要な支援について看護学的視点から理解する</p>	<p>【目的】生活体としての人間を家族と文化の側面から理解し、家族及び文化の多様な価値観とその背景を踏まえ、看護の対象への洞察力を高める</p> <p>【目標】①人が身につけている“文化”と“家族”との関係を理解する、②自分の生活環境を客観視した場合の文化的な特徴を知る、③保健・医療・福祉現場で看護を提供する上で、対象者を理解する際に、その人の生い立ち（文化的背景を含む）や家族から受けた影響に思いを馳せることができる</p>	<p>【目的】実践現場においては、看護の対象者自身の価値観、家族の価値観、関わる医療職者の価値観が交錯し、様々な形で倫理的葛藤が生じる。そのような事例をとりあげ、自由闊達な討論を通して一人一人が自己の価値観をみつめ、倫理的実践とは何か具体的に考えていく</p> <p>【目標】実践現場における倫理的ジレンマを生ずる状況を理解し、困難状況に向かう看護専門職の倫理的感受性の基礎を培う</p>	<p>【目的】患者（サービス利用者）中心の医療及びケアの実現という目標を共有し、チームとして問題解決を行うための方法を学ぶ</p> <p>【目標】①チームにおける対立の調和、調整に必要なコミュニケーションスキルを理解する、②専門職連携における意志決定のための方法を学ぶ、③チーム内の倫理調整の方法を学ぶ</p>	<p>【目的】社会のニーズ・対象者の個性に対応して母性看護を実践するために必要な基礎的知識を理解する</p> <p>【目標】①母性看護学の概念や母性看護領域の専門性を理解する、②女性のライフステージにおける母性の身体的・心理社会的特徴を理解し、母性看護の対象者をアセスメントする際の視点、一般的な看護目標、及び看護の方向性を説明できる、③母性の健康を守るための母子保健医療福祉の現状を知り、その中における看護の役割について考察する</p>

科目名	小児看護学概論	成人看護学概論	老人看護学概論	精神看護学概論	訪問看護学概論
目的・目標	<p>【目的】小児の成長発達および小児の親子関係・家族、小児に関する保健施策について学ぶ</p> <p>【目標】①小児看護の対象、特徴について理解できる、②小児の成長・発達を理解できる、③成長発達において、個人差として経過を観察するもの、看護援助を必要とするもののアセスメント視点を理解できる、④小児が基本的な生活習慣を身に付ける過程と、小児へのかかわりかたについて理解できる、⑤親子関係、小児にとっての家族の役割と望ましい家族関係について理解できる、⑥日本の小児の現状（統計）と小児に関する保健施策について理解できる</p>	<p>【目的】成人・老年期にある患者およびその家族を対象としたがん看護、並びにクリティカルケアについて理解する</p> <p>【目標】①成人期の特徴と健康問題を説明できる、②成人期・老年期の健康問題に対する対象者の反応を説明できる、③我が国のがん罹患の概要とがん対策について説明できる、④がんの予防の段階から診断期、治療期、終末期にある患者の全人的苦痛について説明できる、⑤がんの予防の段階から、診断期、治療期、終末期にある患者の全人的苦痛と関連づけて、がん患者および家族に対する看護の役割を説明できる、⑥救急看護および集中治療を必要とする患者の特徴と基本的看護について説明できる</p>	<p>【目的】老年期に生きる人々、ならびに慢性的疾患・障害を有する高齢者を対象とした看護の役割・機能について学ぶ</p> <p>【目標】①老年期の特徴と健康問題を説明できる、②老化と老年期の生活の変化に対する反応を理解する、③高齢者ケアにおける看護の役割・機能を理解する、④高齢者ケア施設・地域ケアにおける自立支援の考え方と方法を理解する</p>	<p>【目的】精神保健に関する諸理論と、精神看護を実践するための基礎を理解する</p> <p>【目標】①精神保健に関する諸理論について理解し、生物的・心理社会的な諸要因がどのように心の健康に影響するのかを関連づけることができる、②精神看護の基盤となるコミュニケーション技術を効果的に活用できる。また患者－看護者関係の構築と展開のプロセスについて説明できる、③精神科領域における治療的アプローチ、治療的環境、多職種連携について理解し、看護者の役割を説明できる、④精神保健福祉に関する法律や制度、精神保健福祉の動向、精神障害をもつ人の地域生活について理解し、今後の課題と看護者の役割について述べられる</p>	<p>【目的】慢性疾患や加齢に伴う様々な健康問題をもつ人々に対し、家庭等に向向いて行う看護活動の中で、訪問看護制度に基づく看護の役割と特質を学ぶ。学習を通して広く訪問看護に関する概念を形成し、自立した看護専門職として、訪問看護を発展させる力を養う</p> <p>【目標】①訪問看護師の基本姿勢を理解する、②訪問看護制度と関連する制度の概要を理解する、③訪問看護を取り巻く現状や課題について考え、改善のための方策を検討する意欲をもつことができる</p>

科目名	人間学Ⅲ（人間関係）	母性看護方法	母性の健康障害と看護	小児看護方法	成人看護方法	老人看護方法
目的・目標	<p><u>【目的】自分のコミュニケーションの特徴を見出し、少しでもより良いコミュニケーションが取れるようになる。</u></p> <p><u>【目標】①授業中に「相手を聴く」、「自分を表現する」、「相手に関わる」体験学習し、自分のコミュニケーションの特徴を理解する、②コミュニケーションを取るとは、どうということか、人と人とのいい関係とはどうということかを学び、理解する</u></p>	<p><u>【目的】妊娠・分娩期にある母子とその家族に対する看護実践を行うための基礎的知識について理解する。正常な妊娠・分娩経過・早期産褥期・新生児期の経過を理解する。正常な経過にある母子及び家族の特徴とそれに対応した看護援助を理解する。各時期の母子・家族にあわせた周産期看護の特徴を考察できる。</u></p> <p><u>【目標】①周産期にある母子、家族の解剖生理的・心理社会的特徴を説明できる、②周産期にある母子、家族の看護目標・看護の方向性を説明できる</u></p>	<p><u>【目的】妊娠・分娩期の主な異常に関する基礎的知識を理解し、異常の予防と異常のある母子への看護実践を理解する。看護実践を行うための基礎的知識と看護実践を統合する力を養う</u></p> <p><u>【目標】①妊娠・分娩期の主な異常について理解し、予防及び対処するための看護実践方法が考察できる、②産褥期にある母子および家族に対する、基本的な看護目標の設定や看護計画立案の仕方が説明できる</u></p>	<p><u>【目的】疾患をもつ小児と家族への看護方法を学ぶ。代表的な小児科疾患、小児外科疾患について学ぶ</u></p> <p><u>【目標】①様々な疾患をもつ小児の成長発達に伴い生じてくる問題点と、家族に生じる問題点について理解できる、②様々な疾患をもつ小児と家族に対する入院中の看護について理解できる、③様々な疾患をもつ小児と家族に対する長期的な視点をもった継続看護について理解できる、④小児期に代表的な疾患の症状・診断・治療方法が理解できる</u></p>	<p><u>【目的】成人・老年期にある患者を対象とした看護実践の基盤となる看護方法について理解する</u></p> <p><u>【目標】①手術療法に伴う生体への内的外的侵襲に対する患者の反応と身体的心理的苦痛を説明できる、②手術患者の術前術後に必要な原則的看護を説明できる、③がん治療としての手術療法、放射線療法、化学療法をうける患者に対する看護の具体的展開方法を説明できる、④終末期患者に対する緩和ケアの具体的展開方法を説明できる、⑤救急医療を受ける患者のトータルケアについて説明できる、⑥一次救命処置の原理を理解し、シミュレーション人形を活用して一次救命処置が実施できる、⑦手術をうける成人・老年期にある患者に対する看護過程展開方法及び看護計画立案方法を説明できる</u></p>	<p><u>【目的】脆弱な高齢者の様々な生活場面で求められる看護に関する基本的知識と技術を学ぶ。また各種機能障害に対応した慢性疾患看護の考え方を理解し、個別の看護計画立案の過程を学ぶ。</u></p> <p><u>【目標】①老化による生活障害に関連して必要となる主要な看護技術を習得する、②脆弱な高齢者の生活場面での援助にあたり学んだ知識を活用できる、③慢性病患者の状態をアセスメントし、看護に必要な情報を集め、看護計画を立案する、④自己学習により、身体機能の障害を原因、症状、経過、治療対策の特徴から理解する、⑤慢性疾患患者ならびにリハビリテーション過程にある患者の看護過程の特徴を理解する</u></p>

科目名	精神看護方法	看護基本技術Ⅰ (心身アセスメントと生活援助)	看護基本技術Ⅱ（療養援助）	看護技術Ⅲ (成長発達アセスメントと援助技術)	看護管理学概論
目的・目標	<p><u>【目的】精神的健康問題について理解し、看護過程を展開する方法を習得する。また精神看護の基本的技術を活用する。</u></p> <p><u>【目標】①精神的健康問題の病態、治療、回復過程と看護について理解する、②精神的健康問題もつ対象者の力を生かした看護過程の展開方法について説明できる、③様々な精神状態にある人のアセスメントと看護計画の立案ができる、④様々な精神状態にある人の看護方法を述べる事ができる、⑤精神的健康問題をもつ人の地域生活に向けた支援の具体的方法を説明できる、⑥グループアプローチを用いた援助技術について、体験学習した方法を活用できる</u></p>	<p><u>【目的】基本的な心身査定技術の技術を学び、生活援助技術を修得する</u></p> <p><u>【目標】①心身アセスメントのためのフィジカルアセスメントの基本技術を経験し、指導者の監視の下で全身の査定を実施できる、②査定技術を用いた所見が、一般的な健康障害の兆候を見いだすことができる、③代表的な健康障害の兆候を見いだすことができる、④日常生活行動が阻害された人々への援助の原理・原則を知り、援助技術を身につける</u></p>	<p><u>【目的】療養を支えるための基本的な看護技術として、呼吸・循環を整える技術、創傷管理技術、与薬の技術、感染予防の技術、安全管理の技術、安楽確保の技術、診断介助技術を学習する。</u></p> <p><u>【目標】①健康障害の種類と健康の段階を判断し、援助するための看護基本技術を修得する、②看護過程展開の技術（対象に看護技術を適用するための技術）を修得する、③看護基本技術を個別な対象にあわせて応用するポイントをつかむ、④技術の修得レベルを自己評価し、課題をもてる</u></p>	<p><u>【目的】小児の成長発達の評価方法や、健康な小児の日常生活援助技術を修得する。また妊婦・産婦・褥婦の健康・身体機能の状態をアセスメントする方法や援助技術を修得する。</u></p> <p><u>【目標】①小児の身体計測、および、日本版デンバー式発達スクリーニング検査を理解し実施できる、②新生児・乳児の沐浴方法、留意点を理解し、実施できる、③乳幼児の栄養、離乳の進め方や調理方法について理解する、④小児で起こりやすい事故と、事故を起こした際の対応方法や救急蘇生を理解する、⑤妊婦・産婦・褥婦の健康・身体機能の状態をアセスメントする方法や、援助技術を理解し実施できる</u></p>	<p><u>【目的】看護管理における基礎知識を習得する。看護管理における課題を医療のみならず、心理学、社会学、経済学、経営学などの多岐にわたる学問領域の成果を活用して解決策を探求していく</u></p> <p><u>【目標】①医療をサービスの視点から理解する、②管理とリーダーシップにかかわる諸理論を理解する、③組織と倫理について考える、④看護管理上の問題を解決する方法を検討する</u></p>